

2018年3月吉日

各位

一般社団法人クールジャパン協議会
理事長 Julien GIRY

クールジャパンアワード2017受賞の「農家民泊」を

世界NO.1 ビジネススクールの学生が体験

INSEAD ジャパントリップ実行委員会が
長野県飯田市と連携し地方における新たなインバウンド需要を調査

英フィナンシャル・タイムズが毎年発表する「世界MBA ランキング」で、2年連続世界ランキング1位（2016,2017）に輝いたフランスのビジネススクール・INSEAD（インシアド）の大学院生が3月3日～4日、長野県飯田市を訪れ農家に滞在し、世界に誇れる日本文化を認定する「クールジャパンアワード」を昨年受賞した「農家民泊」を体験、日本の伝統的な暮らしや農業に触れました。

訪日外国人の増加に伴い外国人観光客の関心が「モノ消費」から「コト消費」へとシフトする中、INSEAD ジャパントリップ実行委員会では、東京や京都など主要観光都市以外の地方旅行における、新たな観光資源のモデルケース構築に地方都市と連携して取り組んでいます。



▲INSEADの学生による長野県飯田市「農家民泊」体験中の写真

訪日観光客（インバウンド観光客）は2017年に2,800万人を突破し、アジアの経済成長等を背景に今後も拡大が見込まれます。拡大に伴い、買い物などの「モノ消費」から体験などの「コト消費」へとニーズが変化しており、リピーター観光客の93%は東京・京都などの主要観光地以外の日本の地域への訪問に強い意欲を示し地元住民との交流等を求めています。（※）

INSEADジャパントリップ実行委員会では、飯田市と連携して受入れ農家との交流を高めるためのITの試験的活用を行うほか、参加後はフィードバックを行い、観光客を地方に呼び込むためのモデルケース構築を目指します。

※日本政策投資銀行『DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（平成29年版）』

■本件に関するお問い合わせ先

INSEAD ジャパントリップ実行委員会 : takao.makijima@insead.edu (巻島隆雄)

(参考資料)

1. INSEAD (インシアード) ジャパントリップ実行委員会 (代表：巻島隆雄)

同校に在籍する日本人学生が日本の魅力を紹介するために設立された組織です。日本各地を訪問する「ジャパントリップ」を毎年開催しており、今年の2月28日～3月6日は北米やヨーロッパ・アフリカなど約20か国出身の計40人の学生が来日しました。期間中の3月3日～4日には、世界に誇れる日本文化を認定する「クールジャパンアワード」を昨年受賞した長野県飯田市の「農家民泊」を体験。

2. INSEAD (インシアード)

フランスのフォンテーヌブロー、シンガポール、アブダビにキャンパスを持ち、約80か国から約1,000名の学生が在籍。英ファイナンシャルタイムズ紙のランキングにおいて、2016年・2017年連続で世界1位の座を占めるビジネススクールです。

3. INSEAD ジャパントリップ旅程

日付	滞在先	活動内容
2月28日 (水)	京都	学生来日予定。 午後：京都に夕方集合し、歓迎パーティを実施
3月1日 (木)	京都	終日：京都観光及び伝統文化体験（座禅、着物の着付け、茶道等）
3月2日 (金)	京都 → 有馬温泉	午前：京都観光 午後：移動開始、夕方に有馬温泉着（温泉旅館宿泊、宴会）。
3月3日 (土)	有馬温泉→ 飯田	午前：有馬温泉を出発 午後：飯田着。体験1日目（受入れ農家ごとに家族交流）
3月4日 (日)	飯田 → 東京	午前：飯田体験2日目（人形浄瑠璃実演、旧小学校での給食体験、伝統工芸（水引製作）体験ワークショップなど） 午後：移動開始、夕方に東京着。
3月5日 (月)	東京	午前：観光（築地市場・相撲部屋見学、浅草散策等）及び自由散策。 午後：送別パーティを実施。
3月6日 (火)	帰国	学生帰国予定。